

HP Operations Orchestration

Windows および Linux オペレーティングシステム 向け

Base コンテンツパックバージョン 1.0.142

HP 00 ソフトウェアバージョン Content 2013-12 (10.x) 向け

Base リリースノート

ドキュメントリリース日: 2013 年 12 月

ソフトウェアリリース日: 2013 年 12 月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ is a trademark of Adobe Systems Incorporated.

Microsoft® and Windows® are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.

UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

This product includes an interface of the 'zlib' general purpose compression library, which is Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passportのログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやTILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.0.142 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

Base コンテンツパック 1.0.142 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、Base コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
Active Directory	Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2
AIX	AIX 5.3
Ant	
FreeBSD	6.3、7.0
JDBC	
電子メール	POP3、IMAP、sendmail
Excel	1997、2000、2003、2007、2010
ファイルシステム	
Groovy	2.0.2
HP HP/UX	B.11.31
HTTP クライアント	
メソッドの呼び出し	V2

統合名	バージョン
JVM	5.0、6.0
LDAP	
MS Cluster	Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2
ネットワーク	
Red Hat	ES 3、AS 3、ES 4、AS 4、ES 5、ES 6.2
Linux	10、10.1
Perl	
PowerShell	1.0、2.0、3.0
印刷	
リモートコマンド実行	
リモートファイル転送	
Sharepoint	2003、2007
SNMP	1、2、3
Solaris	10
SUSE Linux	openSUSE 10.0、SUSE Enterprise Server 10 SP1、openSUSE 11.0
Windows	2003、XP、2008、2008 R2、2012
WMI	1.x
WS-Management	1.0.0

注: 次の統合には基本的なオペレーションだけが含まれます。高度な機能については、対応する専用コンテンツパックを参照してください。

統合名	専用コンテンツパック
JDBC	Databases
FreeBSD、HP-UX、Red Hat、Linux、Solaris、SUSE Linux、Windows	Operating Systems、Infrastructure Orchestration
電子メール	Business Applications

新機能

- Apache HttpClient のバージョンが4.2.3に更新されました。
- 「Library/Utility Operations/XML Processing/Edit XML」に、新しいオペレーション「**Edit XML**」が追加されました。
- 「**Add Excel Data**」オペレーションで、Excel 文書の指定した行インデックス(行インデックス範囲)および指定した列インデックス(列インデックス範囲)へのデータの追加/挿入/更新が可能になりました。
- 新しいオペレーション「**Convert JSON to XML**」が追加されました。このオペレーションは、一般的な JSON 配列または JSON オブジェクトを、XML 要素のリストまたは XML 文書に変換します。

Base コンテンツパックのデプロイ

HP Operations Orchestration Base コンテンツパック 1.0.142 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.00 またはそれ以降にデプロイする必要があります。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

OO プラットフォームバージョン 10.00 と、次の表に記されているパッチを使用してください。

コンテンツ	パッチレベル
Base コンテンツパック 1.0.121	10.01.001

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D154557	「HTTP Client Get」が、followRedirects 入力 が true に設定されているのに元の URL を返す	URL 結果にはリダイレクト先の最終 URL が含まれていなければならないのに、URL 入力の値が含まれています。
QCCR1D146513 QCCR1D159179	サーバー上で Windows 認証の種類として "negotiate" と "ntlm" の両方が有効になっている場合、HTTP Client の NTLM 認証が失敗する。	SharePoint 2010 と統合するには、NTLM 認証が必須です。 "Negotiate" と "NTLM" がプロバイダーとして設定されているため、OO では wsdl をインポートできません。 All HTTP クライアントベースのすべてのオペレーションは、SharePoint サーバーと通信できません。 Apache HttpClient のバージョンが 4.2.3 に変更され、NTLMEngine が Jcifs 1.3.17 とともに実装されました。
QCCR1D161092	「Remote Command Execution」の説明が更新され、& が特殊文字であると記述される	「/Library/Operations/Operating Systems/Windows/Remote Command Execution」で、次のコマンドの実行時にエラーが返されます。echo "abc^&xyz" & 文字は、エスケープ文字でマークする必要があります。
QCCR1D167669	「EPR - Deprecated/Ping」は正しく動作せず、間違ったパラメーターを使用している	「EPR - Deprecated/Ping」オペレーションは間違ったパラメーター ("arguments" でなく "argument") を使用しているため、失敗します。
QCCR1D167718	アクセラレーターパック: デフォルトの入力を使用すると、「Find Inactive Users」が失敗する	DN 入力に値を入力せずに「Find Inactive Users」フローを実行すると、フローは「Get inactive Users」サブフローの「LDAP Search」ステップで失敗します。これは、そのフローの DN 入力に余分な "DC=domain, DC=com" 値が含まれているためです。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D168926	「Flow Run Summary Report」が失敗する	「Flow Run Summary Report」を正しい実行履歴 ID (OID) で使用するか、runHistoryID を空白のままにしておく、オペレーションは常に失敗を返します。
QCCR1D169264	「Operations/Operating Systems/Windows/Remote」で不正なタイムアウトが観察される	「Operations/Operating Systems/Windows/Remote Command Execution」オペレーションで timeout 入力を使用すると、実際のオペレーションタイムアウトと使用した値が異なります。
QCCR1D170074	HTTP クライアントベースのオペレーションは、余分な文字を追加せずに、URL を正しく処理できる必要がある。	CP11 のインストール後に、HTTP クライアントベースのすべてのオペレーションは、URL の末尾に余分な "=" 文字を追加します。
QCCR1D172401	Content Pack 11 への更新後に、「/Library/Operation/HTTP Client」にある「HTTP Post」オペレーションが、無効な入力長で失敗する	Content Pack 11 のインストール後に、「/Library/Operation/HTTP Client」にある「HTTP Post」オペレーションを含むフローを実行すると、失敗します。 OO では、区切り文字間に入力値がない場合、その間のフィールドを検出しません。このため、オペレーションの実行は、入力名と入力値のリストの長さに相違があるというエラーで失敗します。
QCCR1D172428	「String Comparator」の説明に関する問題を解決する	CP4 では、「Library/Email/Send Mail」オペレーションは、区切り文字としてコンマを使用していました。CP11 ではこれが変更され、オペレーションには "delimiter" という入力値があり、デフォルト値は ; になっています。この変更のため、「Send Mail」を使用する顧客フローは動作を停止します。
QCCR1D173192	今後 30 日間実行するようにスケジュールされたフローが過去にスケジュールされる	今後 30 日間実行するようにスケジュールされたフローが、過去のスケジュールに組み込まれることがあります。このフローは、今後 30 日間 (43200 分) 実行するように設定されています。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D175305	「Send Mail」オペレーションのデフォルトの区切り文字が、9.04 から CP11 になって変更された	<p>過去のバージョンでは、「Library/Email/Send Mail」オペレーションは、区切り文字としてコンマを使用していました。CP11では、これが変更され、オペレーションには "delimiter" という入力値があり、デフォルト値は ; になっています。</p> <p>この変更のため、「Send Mail」を使用する顧客フローは動作を停止します。 QCCR1D135788 で説明した修正プログラムのマージ中、以前に使用していたデフォルトの区切り文字 (コンマ,) は、セミコロン ; に切り替えられました。</p> <p>コンマ文字 (,) は、受信者フィールドで複数のアドレスを使用する場合に使用される文字です。</p>
QCCR1D175709	OOTB オペレーション「Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestrations/Repository/Set System Account」を使用し、入力を createNewAccount=True に設定すると、システムアカウントは作成されるが、ユーザー名とパスワードが空白のままになる	OOTB オペレーション「Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestrations/Repository/Set System Account」を使用し、入力を createNewAccount=True に設定して、新しいシステムアカウントを作成すると、システムアカウントは作成されますが、ユーザー名とパスワードには入力されません。システムアカウントが既存のもので、入力が createNewAccount=False でない限り、ユーザー名とパスワードには入力されません。
QCCR8C21499	Content Pack 11への更新後に、「/Library/Operation/HTTP Client」にある「HTTP Post」オペレーションが、無効な入力長で失敗する。	Content Pack 11 のインストール後に、「/Library/Operation/HTTP Client」にある「HTTP Post」オペレーションを含むフローを実行すると、失敗してエラーメッセージが表示されます。
QCCR8C21506	「String Comparator」の説明に関する問題を解決する	「String Comparator」の説明をより明確になるように更新する必要があります。
QCCR8C22100	9.x と 10.x 間の LDAP.cs のマージに関する問題	OO 9.x から OO 10.x にマージされなかったという顧客に発生した問題の修正があります。

既知の問題

既知の問題の参照番号は、QCCR (Quality Center Change Request) 番号です。

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D132278	RAS が日本語版の Windows 2008、VISTA、または Windows 7 上で設定されている場合、Local Ping は正しく動作しません。	この問題は、コードを次のように編集することで修正できます。 「Local Ping」オペレーションによって作成される一時 bat ファイルの先頭に、"chcp 437" を追加します。 "chcp.com 437" によってコード ページが "OEM United States" に設定されるため、ping コマンドの出力がローカライズされなくなります。
QCCR1D135409	「Divide」オペレーション	「Library/Utility Operations/Math and Comparison/Simple Evaluators/Divider」オペレーションを使用して 0.0 を 0.0 で割ると、オペレーションは BigInteger divide by 0 というメッセージを出して失敗します。
QCCR1D132829	「Get」および「Put」オペレーション	「Library/Operations/Remote File Transfer/FTP/Get」および「Library/Operations/Remote File Transfer/FTP/Put」オペレーションは、type 入力に無効な値を指定しても正常に完了します。
QCCR1D138299	「Base64 Decoder」オペレーション	「Library/Utility Operations/Base64 Decoder」オペレーションは、data 入力の値に無効な非 ASCII 文字列が含まれていても、characterSet 入力の値が ASCII または shift-JIS の場合は success を返します。本来ならオペレーションは失敗するはずですが。
QCCR1D142305	「SQL Query All Rows」オペレーションが、queryCount リターン結果に対して値を設定しない	「Library>Operations>Databases>JDBC」にある「SQL Query All Rows」オペレーションを使用する場合、"queryCount" リターン結果フィールドに値は設定されません。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D144937	コマンド入力として "EXEC" コマンドが指定されている場合、「SQL Command」オペレーションが "outputText" 結果に対して値を返さない	「/Library/Operations/Databases/JDBC/」配下にある「SQL Command」オペレーションは、コマンド入力として "EXEC" コマンドが指定されている場合、「SQL Command」オペレーションが "outputText" 結果に対して値を返しません。 オペレーションに入力として SELECT コマンドが指定されている場合、outputText は正しい結果を返します。
QCCR1D146496	「SQL Query」オペレーションが入力を小文字に変換する	Sybase データベースでは、大文字と小文字が区別されます。テーブルに大文字の名前を付けると、「SQL Query」(Java ベース) オペレーションは自動的に小文字に変換するため、オペレーション中にエラーが発生します。
QCCR1D150544 / QCCR1D157659	HTTP クライアントが接続を再利用しないため、パフォーマンスボトルネックが発生する	数千個のステップに対してフローが同じオペレーションを順次使用する場合、RAS オペレーションは、各ステップで必要なリソースを再利用せずに再作成します。
QCCR1D152657	「Set WMI Attribute」オペレーションが空の Where 句に対して失敗する	「Set WMI Attribute」オペレーションは、Where 句を指定しない場合、Java と .NET のどちらからの場合でも失敗します。
QCCR1D153166	SNMPv1 のオペレーションが紛らわしいエラーメッセージを返す	「SNMPv1 Get」オペレーションを使用してフローを実行し、SNMP エージェントに接続できなかった場合、間違ったエラーメッセージが表示されます。 さらに、「SNMPv2 GET」および「SNMPv3 GET」オペレーションを使用しているフローを実行すると、意味不明なエラーメッセージが表示されます。
QCCR1D154524	「/Library/Operations /File System/Windows Only/Excel/ Get Cell」オペレーションを OLE オブジェクトを含む Excel ファイルに対して使用すると、失敗に終わる	「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/Get Cell」オペレーションを使用して Excel シートを読み取るフローを実行する場合、Excel ファイルに OLE オブジェクト (チェックボックスなど) が含まれていると、オペレーションは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D158637	他の変数が同じレベルであると、invoke2 メソッドの配列の順序がおかしくなる	invoke2 の xmlTemplate に配列があり、その他の変数が同じ xmlBlock 内にある場合、SOAP 要求は間違った順序で構築されます。 xml block array variable end xml block この例では次のような SOAP メッセージがキャプチャーされます: start xml block array 0 values variable array 1 values array 2 values end xml block
QCCR1D159924	「Convert Object to Flow Variables」オペレーションで、整数値が10進値に変換される。	「/Library/Utility Operations/Containers/JSON/Convert Object to Flow Variables」オペレーションは、整数値入力 (例: 1、2、3) を10進値 (1.0、2.0、3.0) に変換します。
QCCR1D160507	Date Parser が大きなミリ秒値を正しく変換しない	「Date Parser」オペレーション (/Library/Utility Operations/Date and Time/Date Parser) は、2 ³² 以上の入力値を正しく変換しません。このため、出力日付の範囲が12/7/1969 ~ 1/25/1970 に制限されます。
QCCR1D164903	「Operating System Detector」で、ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残される	「Operating System Detector」オペレーションによって ReturnResult の末尾に印刷不可能な文字が残されます。返された値を一致の種類 RegEx とパターン ".*" で「String Comparator」オペレーションに渡そうとすると、不一致エラーが発生します。
QCCR1D166443	Excel の「Get Row Index by Condition」オペレーションで org.apache.poi.hssf.record.RecordFormatException が発生する: レコードインスタンスを構築できません。	「/Library/Operations/File System/Windows Only/Excel/」配下の「Get Row Index by Condition」オペレーションは、エラーメッセージが表示されて失敗し、Apache POI によって例外がスローされます。
QCCR1D170767	socketTimeout が HTTP クライアントベースのすべてのオペレーションに追加される	9.0 の「Http Client Get」オペレーションには、新しい入力 socketTimeout があり、ドキュメントに記載されていますが、 「/Library/Operations/HTTP Client/*」配下のその他の HTTP ベースのどのオペレーションにも、socketTimeout を許容するドキュメントの記載がありません。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR1D173609	SQL Server のバイナリデータが OO でバイナリとして返されない	種類が Binary(16) の列を持つ SQL Server データベースで、OO からクエリを実行すると、結果がデータベースに表示されるものと一致しません。
QCCR1D174459	「Edit XML」オペレーションが http 経由でないリモートファイルで動作しない	「Edit XML」オペレーションでは、リモートホスト (http 経由でない) からの xml ファイルを読み込める必要があります。

